

地域の声を市長に

合同地域審議会を開催しました

平成29年度を始期とする第2次村上市総合計画を策定するにあたり、地域における「日常生活の課題と解決するための方向性」について、各地域審議会が1年をかけて審議したものを2月2日(火)、合同で市長に提言し、その後意見交換を行いました。



神林地区地域審議会
会長 大嶋芳美 氏

買い物や通院に困っている高齢者が増えており、企業などと連携した移動販売や地域、集落での支え合いに対する支援が必要です。また、公共交通は効率的で実情に即した見直しや拡充を、お願いします。数年後には複式学級になる小学校もあるようですので、将来を見据え、速やかに統合を進めていただきたいと思います。



朝日地区地域審議会
会長 忠隆司 氏

子どもたちが安心して遊べる場が少ないという声があることから、「朝日みどりの里」拡充の際には、観光にも結びつくような公園整備が必要です。また、子どもの時からスポーツに触れるような機会を増やすために、指導員の確保や施設整備などの環境づくりを進めていただきたいと思います。



高橋市長

各地区からの提言をしっかり受け止め、第2次総合計画に反映したいと思います。特に、村上で生まれたことに誇りを持った子どもたちを育てる環境づくりが必要です。人口が減っていく中で、いかに魅力ある市を作るかが大事であり、10、20、30年後を見据えた市民一人一人が誇れるまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。



村上地区地域審議会
会長 山口治雄 氏

総合計画は市の最上位計画ですが、市民の関心度や認知度が非常に低いです。市民が関心を持てる総合計画にするためには女性の意見が必要です。女性が各種委員会への参加や、気軽に集える場所づくりに取り組むことで、どのような生活環境を望んでいるのかを聞き取っていただきたいと思います。



荒川地区地域審議会
会長 会田健次 氏

駅前周辺のにぎわいが無くなり閑散としているため、活性化策の検討と買い物困難者など高齢者の生活支援が必要です。また、画一的な施策だけでなく、その地域の特性に合った施策を講じる必要があります。人口減少対策として保育園跡地の宅地開発など積極的に有効活用を図っていただきたいと思います。



山北地区地域審議会
会長 富樫保晴 氏

少子高齢化や地域コミュニティの維持に焦点を置き提案しました。過疎化が急激に進み、買い物困難者対策を早急な課題として、山北商工会が中心となり取り組みを開始しています。このような取り組みについて市や関係団体が横断的にかわる体制が必要です。

地域審議会とは「市町村の合併の特例等に関する法律」の規定に基づき、設置された組織であり、合併市町村基本計画や地域の施策、各種計画の策定などについて市長に対し意見を述べるすることができます。これまでの審議内容などは、市ホームページに公開しています。